

遠隔地在宅勤務で障がい者(チャレンジド)雇用を創出

IT活用で試練に挑戦する人々を応援します！



萩原 まずは会社設立までの経緯から伺います。

坪井 人材ビジネスで深い経験とノウハウを有す(株)スタッフアイの札幌支社が平成十四年にスタートし、その関連子会社としてシステム部門のメンバーを集め平成二十一年一月に設立したのが当社です。

萩原 では、御社の主な業務はソフトウェアの開発ということになるのでしょうか。

坪井 はい。企業向けITシステム開発やAppなどスマートフォンアプリ開発を手掛けています。当社は余市生まれ・札幌育ちで、「最近北海道は元気がないので、地域活性、地域貢献をテーマに、北海道が元気になるような企業にしたい」という思いがありました。設立時の経済状況はまさにどん底で、ちょうど市場自体がリセットされた中でスタートといった感じでした。

萩原 今年七月には、新たな取り組みで北海道経営革新認定企業にも選ばれたと伺いました。

坪井 企業に対する障がい者雇用率が厳しくなる中、都心部と地域の需給バランス不均衡に拍車がかかってきているという点に着目しました。新しい取り組みとしてITを活用し、北海道の障がい者(チャレンジド)雇用の創出に繋がらないかと考えたわけです。

萩原 具体的な内容といえますと。
坪井 ITやネット環境を活用し、

遠距離の障がい者(チャレンジド)に対し、都心部企業が在宅勤務といった形で遠隔地雇用頂くためのコンサルティングや環境インフラ構築、必要に応じてのITシステム

の提供、定期的なケアやメンタルケアなどをワンストップでご提供させて頂きます。元々の人材ビジネスノウハウと得意分野のIT、札幌・東京に事業拠点を有する点を強みとするビジネススタイルです。

萩原 ノウハウをお持ちだったとは言え、新たな事業に「雇用創出」という分野を選ばれたのは何かこだわりがあったのですか。

坪井 ある地域では人口の三割は障がい者と高齢者で若い世代が割もおらず、仕事もないという状況を知りました。都心部とは完全に逆転しており、そういったギャップを埋めていくためにも遠隔地での障がい者(チャレンジド)在宅勤務雇用を推進しようという動機になったわけです。

萩原 一つの事業に留まらず積極的な展開を続けておられる御社ですが、今後の展望については。

坪井 人材系ノウハウとIT系ノウハウを上手く組み合わせ、サービスやフォロワー面も含め一から十まで提案していける環境をつくりたいです。行く行くは北海道の企業として、どんなニッチな分野でも良いので日本一になりたいですね。

萩原 一層のご活躍を！

(株)アイテック北海道

【本社】北海道札幌市中央区南1条西9-1-15 井門札幌S109ビル6F

TEL.011-206-9235 FAX.011-206-9236

<http://www.itec-h.com/TWS/>

【東京支店】東京都千代田区神田多町2-9-6 田中ビル5F

TEL.03-5297-7065 FAX.03-5298-0522

対談

取締役

坪井 大輔

インタビュアー

萩原 流行

【俳優】